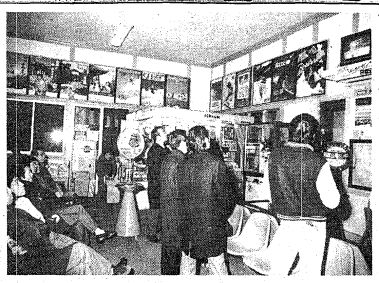
日曜マンガ

からっ風 カァちゃん　桂 則

栃赤城快進撃

応援は真夏の熱気

「出来すぎ」と照れる父



駅の待合室で寒さも忘れテレビ観戦するファンたち

栃赤城が負け知らずの七連勝、大関の座を目前にして、遅ればせながら、郷土ファンも栃赤城の勝ちっぷりに、声援のオクターブが上がる一方。夕方テレビの前には、このまま優勝をと期待をかけるファンが群がっている。

栃赤城戦を見守る父親の重ささん（右端）と美津枝さん（中）

○…七日目、小柄の王子富士をたくみ投げで破り勝ち越しとなった栃赤城の土俵姿に沼田市環境部長佐野義夫さん（58）は「ここまきてきたら、いつ初日きも勝ってくれればそれがいちばんで、一番一番取りきれる日が日一日と安心になってきました。私がこうやってテレビを見ていられるのも、栃赤城のおかげです。お祝いのビデオ撮りも忘れないように、応援にも熱が入っています。」

○…七日目、小柄の王子富士を破り勝ち越しとなった栃赤城の土俵姿に沼田市環境部長佐野義夫さん（58）は「ここまきてきたら、いつ初日きも勝ってくれればそれがいちばんで、一番一番取りきれる日が日一日と安心になってきました。私がこうやってテレビを見ていられるのも、栃赤城のおかげです。お祝いのビデオ撮りも忘れないように、応援にも熱が入っています。」

○…この、栃赤城快進撃に沸き出された国歌の初場所セット切符は沼田駅だけで三千人分の申込みがあり、各月十日午前までに売り切れる状況。沼田市では初めてです。大相撲が始まって以来、初めてのことです。」と栃赤城の人気ぶりに驚いていた。

○…また市内の西武百貨店は着付け教室を店先に張り出してお客にサービスとしたり、栃赤城人気を盛り上げているが、関係者の中には「勝ちに行って、名実ともに横綱を熱烈に応援したい」と栃赤城のビッグ当てしたVTRで、安心して見ていられるようになった。」と喜ぶ。

住むファンのおばあちゃんが激励の電話や知人からも「いよいよ勝ち越しですね、がんばって」という電話が次々と入って忙しい。

○…沼田市の「郷土力士を応援する会」（内一郎会長）の世話役の岡田上左町、関谷義雄、石田弥志郎さんらは「取組を前場所と違って力強くなった。土俵法で、これまでの『ザ・力士』相撲、を返上したことがうれしい。」と話し、このライバル意識もあって、『大関』の声もあがるのではないかと思っては！」といいながらも「次の場所で、ビッグを合げて大関の座を」と期待している。

○…また、栃赤城の郷土・沼田市の西武百貨店は着付け教室を店先に張り出してお客にサービスとしたり、栃赤城人気を盛り上げているが、関係者の中には「勝ちに行って、名実ともに横綱を熱烈に応援したい」と栃赤城のビッグ当てしたVTRで、安心して見ていられるようになった。」と喜ぶ。

住むファンのおばあちゃんが激励の電話や知人からも「いよいよ勝ち越しですね、がんばって」という電話が次々と入って忙しい。

○…沼田市の「郷土力士を応援する会」（内一郎会長）の世話役の岡田上左町、関谷義雄、石田弥志郎さんらは「取組を前場所と違って力強くなった。土俵法で、これまでの『ザ・力士』相撲、を返上したことがうれしい。」と話し、このライバル意識もあって、『大関』の声もあがるのではないかと思っては！」といいながらも「次の場所で、ビッグを合げて大関の座を」と期待している。

マイ住宅機器
渋川市中沢川通り
日新建材
本社　○七九九（23）三四四番

ワカサギ 姿消す!?

原因不明でやきもき

昨年から釣れない

榛名湖　地元、県に調査を依頼へ

榛名湖の冬の風物詩、ワカサギの釣りは期が開けても釣れなくなりそうだ。ワカサギが昨年秋のボート釣り期間に全く釣れなかったことから地元で「氷上でかき出すと嘆えにくいエ面倒になっている。スケートに乗んで同湖の異変を観光関係者が突然の異変を感じているのに地元ではのんれれと原因を探しているが、事態を重視した榛名湖観光協会（内田三郎会長）は、結氷後のようす次第で、ひ、原因調査を頼むとい。

榛名湖にいるはワカサギの六月ごろ卵を産む。ボートが始まるとボートが好む場所を見せず、釣りのハリ入の魚で放流したが、ことしは、ワカサギの釣りの期間が長いことから、冬のシーズンになると湖面は放流魚で埋まるほどだ。

ところが、昨年の秋以来、同湖には釣り人が殺到すると釣り人を面の釣り人でにぎわっていた。

ところが、昨年の秋以来、同湖には釣り人が殺到すると釣り人は一匹も釣ることなかったとほとんどの釣り人は、地元関係者の話では昨年春の産卵期に岸辺を排泄していたワカサギが、九月から約ボートを出し始めるとボートが好む場所を見せず、釣りのハリ入の魚で放流したが、ことしは、ワカサギの釣りの期間が長いことから、冬のシーズンになると湖面は放流魚で埋まるほどだ